

CBX125F



BARING ON RD.

HONDA
PASSIBLE SPORTS カラダに感性。



あの
(RFVC)
ツインカム
搭載。シング
ルのポテンシャル
を熱くする。

エンジンが、走りを楽しむための道

いつもの混雑した都会の道を、キビキビと走るとき。ウィークを、エキサイトなドライブを駆け上がらなければならない。CBX125F。シングルならではのテストに加えてこのハイパワーと力強いトルクを実現したのは、ホンダ独創のRFVC。すぐれた吸・排気効率をもたらし従来は両立させることが難しかった高回転型燃焼室という放射状のバルブ配置によってひとつのエンジンに実現したシステムだ。また伸びやかな吹け上がりで鋭敏なスロットルレスポンスをもたらし、デュアルインテーク・キャブレター。ふたつのインテークポートに機能の異なるキャブレターを接続。低速域と中高速域でのキャブレター作動を変化させている。17PS/11,500rpm、1.1kg-m/8,500rpm。余裕のパワーとトルクが、ライトウェイトスポーツを社快にする。

そのように、タイトなコーナーを走るための、柔軟な走りを可能にする。CBX125F。その走りを楽しむための道。

生きもののように、タイトなコーナーを駆け回る。充実のフレーム、サスペンション。

走る、曲がる、止まる。
オートバイの基本性能を突き詰めれば、この3つに集約される。ライダーがマシンを操るためには、エンジンが必要だ。CBX125Fは鍛えられたフレーム、サスペンションも自慢。フレームは、角型でないしっかりしたシャシーが特徴。フレームは、角型だったフレーム、サスペンションのセミダブルクレードルタイプ。さらに、ウインチ採用のセミダブルクレードルタイプ。さらに、高剛性フロントフォークには軽快な操縦性をもちあす16インチフロントタイヤを採用。また、リアサスペンションには減衰特性を発揮させる。一方、ホイールには軽量でしなやかなスーパーオイルのリザーバータンクも装備し、安定した減衰を実現させる。一方、ホイールには軽量でしなやかなスーパーオイルのリザーバータンクも装備し、安定した減衰を実現させる。

足回りが、CBXのハイパワー
リ受け止める。

流麗なインテグレート・フォルムと、ハイパフォーマンスを支えるための装備・仕様。

流麗なインテグレート・フォルムと、ハイパフォーマンスを支えるための装備・仕様。



車体色：ロスホワイ



型式	JC11	
全長(m)	1,940	
全幅(m)	0,680	
全高(m)	1,120	
軸距(m)	1,280	
最低地上高(m)	0,180	
シート高(m)	0,770	
車両重量(kg)	117	
乾燥重量(kg)	105	
乗車定員(人)	2	
燃費(km/ℓ)	60.2(50km/h定地走行テスト値)	
最小回転半径(m)	2.2	
エンジン型式	JC11E-空冷4サイクルDOHC4/16バルブ縦置	
排気量(cc)	124	
内径×行程(mm)	58.0×47.0	
圧縮比	11.0	
最高出力(PS/rpm)	17/11,500	
最大トルク(kg-m/rpm)	11.8/5,000	
キャブレター型式	PF35	
始動方式	セル式	
点火方式	無接点CDI	
潤滑方式	注送形油筒併用式	
潤滑油容量(ℓ)	1.2	
燃料タンク容量(ℓ)	12	
クラッチ形式	逆式手板コイルスプリング	
変速機形式	常時噛合式6段1ターン	
変速比	1速	3.000
	2速	2.062
	3速	1.578
	4速	1.333
	5速	1.153
	6速	1.041
減速比(1次/2次)	3.315/3.000	
キャスト(度)	27°00'	
トレール(mm)	90	
タイヤサイズ	前	80/100-15 45P
	後	90/90-18 51P
ブレーキ形式	前	油圧式ディスクブレーキ
	後	機械式リーディングブレーキ
懸架方式	前	テレスコピック
	後	スイングアーム
フレーム形式	シタブルクロードル	

※定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。
したがって、走行時の気象、道路、車面、整備などの諸
条件により異なります。

※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。
※単体色は印刷のため実物と多少異なる場合があります。

標準現金価格 ￥289,000
(北海道、沖縄および一部離島を除く)

価格には保険料・税金・登録などに伴う諸費用は含まれていません。



HONDA
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山2-1-1 TEL(428)1111

〒158 東京都世田谷区桜3-20-7
ホンダ東京自販

TEL (426) 1221 (代)

HELLO! GOOD RIDER
ナイスな走り。ナイスなマナー。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。●点検整備を忘れずに。●安全のため改造はやめましょう。●心にゆとりのもてるスピードで走りましょう。
- カーブではスピードをひかえめに。●逾越は余裕をもって。●自分を目立たせるため、早朝・夕方の「ヘッドライト早め点灯」を。